

鈴木康広 「見立て」の実験室

2014年9月13日(土) →
2014年11月24日(月・祝)

「バウムクーヘンの美術館」2014

展覧会名	鈴木康広「見立て」の実験室		
会期	2014年9月13日(土) → 11月24日(月・休)		
	開場時間 / 10時~18時(金・土曜日は20時まで)		
	休場日 / 毎週月曜日(ただし、10/13、11/3、11/24は開場)、10/14、11/4		
会場	金沢21世紀美術館デザインギャラリーほか	料金	入場無料
主催	金沢21世紀美術館 [公益財団法人金沢芸術創造財団]		
協賛	SHISEIDO		
お問い合わせ	金沢21世紀美術館 TEL076-220-2800		

展覧会について

日常生活で「これは何かと似ている」と思うことがあります。このように、あるものを別のものとして表す技法を「見立て」といいます。鈴木康広(1979年静岡県生まれ、東京都在住)は船の航跡をファスナーに、剣玉の赤い玉をリンゴに見立てるなど、見慣れたものや現象を独自の視点で捉え、世界の見方を広げる作品を発表しています。

今秋、金沢21世紀美術館は美術館や金沢のまちを改めて見つめ直す機会として、見立てをテーマとするプロジェクト展示を開催します。

「鈴木の見立て＋みんなの見立て＝見立ての実験室」

鈴木とともに展覧会の企画運営を担うボランティア・メンバー、通称「研究員」の募集をしたところ、2歳から50代まで幅広い年齢層の65名が研究員となりました。活動説明会で鈴木は「金沢では、ものをつくって見せることの考え方を変えてしまう実験室をつくりたい。そのためには仲間が必要なので、興味を持って集まってくれた人たちには積極的に関わってもらいたい」と話しています。

活動の始まりに、鈴木は「開館10周年を迎える円形の美術館(金沢21世紀美術館)」を「年輪状のお菓子(バウムクーヘン)」に見立てました。1ピース切り取られた「バウムクーヘンの美術館」(表紙画像1)は中と外がつながり、開かれた空間となっています。断面の年輪は開館以来の年月や、美術館を訪れた人それぞれが得た経験や思い出などを想起させます。

実験室開設に向けて、研究員たちは「見立て」をテーマに何ができるか、何をしたいか、意見を出し合い、アイデアを練っています。「見立ての実験室」は鈴木の創作視点を切り口に、研究員や来場者など、「みんな」のものの見方や捉え方が交わる場となることでしょう。

作家プロフィール

鈴木康広(すずきやすひろ)

1979年静岡県浜松市生まれ。2001年東京造形大学デザイン学科卒。同年NHK「デジタル・スタジアム」で発表した回転式遊具を利用した映像作品「遊具の透視法」で年間最優秀賞を受賞。02年「椅子の反映」(01年)でフィリップモリスアートアワード大賞を受賞。「まばたきの葉」(03年)、「ファスナーの船」(10年)と次々と話題作を発表する一方、原研哉ディレクション「SENSEWARE」をはじめとするデザイン展にも参加。共著に『Digital Public Art in Haneda Airport 空気の港 テクノロジー×空気で感じる新しい世界』(美術出版社)、作品集に『まばたきとはばたき』(青幻舎)がある。現在、東京大学先端科学技術研究センター中邑研究室協力研究員、武蔵野美術大学空間演出デザイン学科専任教員

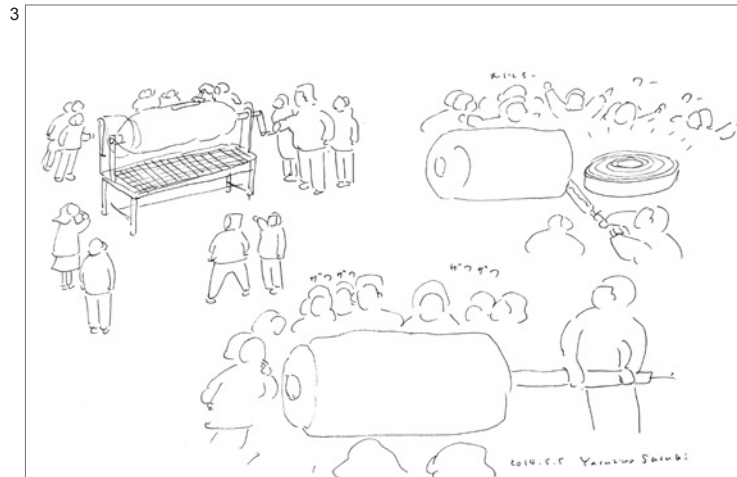


<今年度の主な予定>

- ・「ミッション[宇宙×芸術]ーコスモロジーを超えて」
(6/7-8/31 東京都現代美術館)
- ・鈴木康広展「近所の地球」
(8/2-10/19 水戸芸術館現代美術ギャラリー)
- ・小池博史ブリッジプロジェクト
『風の又三郎-Odyssey Of Wind』舞台美術担当
(10/4 流山市文化会館、10/8-13 吉祥寺シアター)

作家ステートメント

当初は、美術館開館10周年という機会に、なぜか1人では運べないくらい大きなバウムクーヘンをみんなで作りたいくなり、そのイメージを美術館の人たちや研究員に伝えるためにスケッチを描きました。最近になって気づいたのは、バウムクーヘンという魅力的な構造をもったお菓자에、美術館の活動が木の年輪や水の波紋のように街に広がり、参加するひとたちに共有されていくことを意図せず「見立て」ていたことです。今回の実験室では、みんなで巨大なバウムクーヘンをつくるイメージを共有し、身近なものを見方を広げる方法を研究員のメンバーと探求していきたいと思っています。



「バウムクーヘン美術館を焼く」2014 © SUZUKI Yasuhiro

今までの動き



4 金沢「見立て」調査（昨年9月、今年4月）

鈴木が金沢を訪れ、町中や美術館を巡りながら「何か別のものに見える」と思ったものをスケッチや写真にまとめ、参加型展示会の着想を得ていった。



5 「研究員」活動説明会（6月）

「子どもから大人まで30名程度募集」の声かけに80名超が集い、65名が研究員に登録した。年代は2歳から50代、在住地は島根、神戸、京都、静岡、富山、金沢など、参加理由も様々な人たちが参集した。



6 研究員による準備活動（7月、8月）

7月…研究員同士の交流を深め、実験室で「見立て」をテーマにやりた
いことのアイディアを出しあった。

（写真は「人間バウムクーヘンをつくろう」の様子）

8月…「見立ての実験室をデザインする」をテーマに鈴木とワーク
ショップを実施

これからの予定

- ・「見立ての実験室」の展示(9/13-11/24)
- ・研究員による「見立ての実験室」の運営(会期中、金・土・日・祝日の午後を予定)
来場者が見立てを体験する各種企画を実施する。
- ・鈴木とのプログラム
 - 9月13日(土) オープニング・プログラム
 - 10月25日(土) ワークショップ
 - 11月3日(月・祝)「バウムクーヘン美術館をつくろう」
 - 11月24日(月・休) クロージング・プログラム

広報用画像

画像1～10を広報用にご提供致します。

ご希望の方は下記をお読みの上、広報室へお申し込みください。 Email: press@kanazawa21.jp

<使用条件>

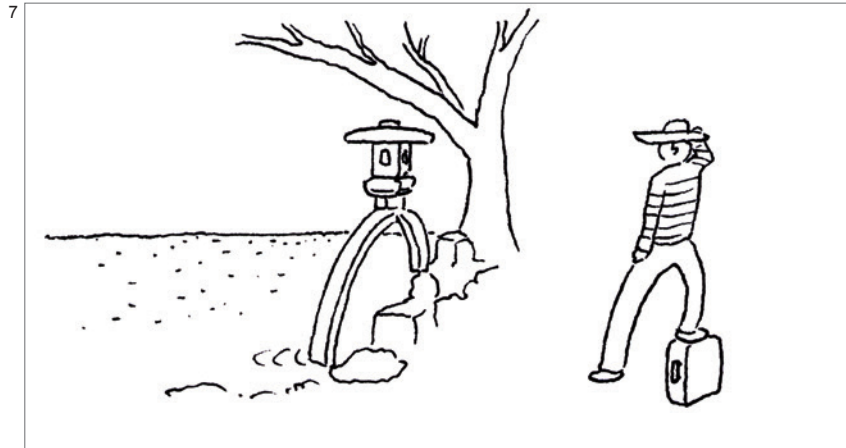
※広報用画像の掲載には各画像のキャプション、クレジットを必ずご表示ください。

※トリミングはご遠慮ください。キャプション等の文字が画像にかぶらないよう、レイアウトにご配慮ください。

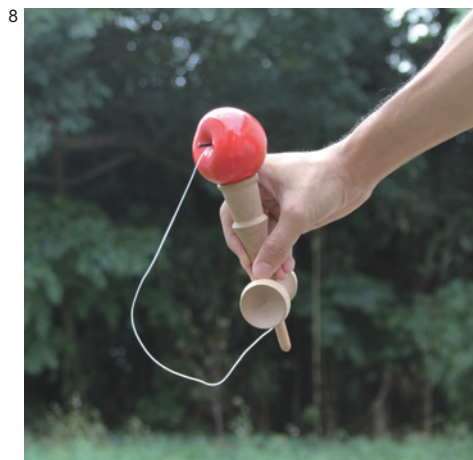
※情報確認のため、お手数ですが校正用原稿を広報室へお送りください。

※アーカイブの為、後日掲載誌(紙)、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。

以上、ご理解・ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



© SUZUKI Yasuhiro



《りんごの剣玉》2003 © SUZUKI Yasuhiro



《ファスナーの船》2004 © SUZUKI Yasuhiro



《バケツの切り株》2007 © SUZUKI Yasuhiro